

令和4年度第3回自立支援協議会こども部会 議事要旨

1. 開催日時 令和5年1月26日(木) 午後2時～午後4時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3 (オンラインと併用)
3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載

教育研究センター、こども発達センター、浦安市自閉症協会、浦安手をつなぐ親の会
社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、社会福祉法人佑啓会
NPO法人アリスのうさぎ、NPO法人かぷあ、NPO法人発達わんぱく会
NPO法人ワーカーズコープ、スフィンクス株式会社、千葉県立市川特別支援学校
千葉県立船橋夏見特別支援学校、千葉県立浦安南高等学校、浦安市立小学校長会
こども家庭支援センター
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 第3回自立支援協議会の報告と第2回こども部会の振り返り
 - (2) サポートファイルうらやす利用状況WEBアンケート結果報告
 - (3) 令和3年度・令和4年度こども部会の振り返りと自立支援協議会への報告について (非公開)
3. 閉会

5. 配布資料

議題(1)資料	第3回浦安市自立支援協議会(令和4年11月17日(木)) 報告
議題(2)資料1	サポートファイルうらやす利用状況WEBアンケート結果報告
議題(2)資料別紙	サポートファイルうらやす利用状況WEBアンケート結果報告(グラフ)
議題(2)資料2	「サポートファイルうらやす」の利用促進について
議題(3)資料1	令和3年度・令和4年度こども部会の振り返りと自立支援協議会への報告
議題(3)資料2	発達に心配のあるこどもやその家族への支援について
参考資料	浦安市のライフステージに応じた支援
当日資料	発達障がいとその支援について(講演会チラシ)

6. 議事概要

(1) 第3回自立支援協議会の報告と第2回こども部会の振り返り

■説明（リーダー・事務局）

事務局より第3回自立支援協議会の報告と、リーダーより第1回こども部会の振り返りを行った。

■主な意見

特になし

(2) サポートファイルうらやす利用状況WEBアンケート結果報告

■説明（事務局）

事務局より、令和4年10月1日から11月30までの期間に実施したアンケートの結果報告を行った。

■主な意見

- ・ サポートファイルを渡されたときに必要性や重要性を話してくれないという意見があったので、渡した後のフォローをしていきたい。
- ・ サービス契約時にもってきていただくよう声掛けをしたい。
- ・ 事業所として、サポートファイルを見る機会、保護者が見せる機会をつくっていきたい。
- ・ 事業所が共通シートを活用できれば、保護者も使う意図が湧いてくるのではないかと。
- ・ 新しくできた事業所にサポートファイルを周知する必要がある。
- ・ 平成27年の会議でも同じようなアンケート結果が出ており、改善されずに今に至っていると感じた。
- ・ 今はLINEで予約することやこどもの様子を共有することができる。時代が変わってきて、動画や画像で伝えることが便利になっている。
- ・ 選択の自由を残しつつ、使いたい人が使えばよいと思う。
- ・ 以前参加した際に、「切れ目のない支援」を大きなテーマで話していたと思う。
- ・ 今の保護者は、自分が使いやすいツールでそれぞれの機関に情報を伝えているのではないかと。
- ・ あくまでサポートファイルは目的を達成するための手段であるが、書くことが目的になっている。
- ・ サポートファイルについて、大きく見直す時がきているのではないかと。
- ・ （事務局）保護者が情報を拾いに行けるツールとしても活用できないかと考えている。
- ・ （事務局）中身を精査し、団体の方にも確認を取り、改定したいと考えている。

(3) 令和3年度・令和4年度こども部会の振り返りと自立支援協議会への報告について

■説明（リーダー・事務局）

事務局より令和3年度・令和4年度こども部会の振り返りをした後、リーダーより自立支援協議会への報告事項について説明、意見聴取を行った。

■主な意見

- 障がいの有無にかかわらず、庁内で広く連携していきたい。
- 「この相談窓口にはこんな職種の人がいる」という情報を親に伝えられたらよいと思う。
- 課題に対し、具体的な解決策を見出せるとよいと思う。
- 時代とともに変わる部分はあるが、「切れ目のない支援」は変わってはいけない部分だと思う。
- 現場レベルの話ができる場になると、より連携しやすくなるのではないか。
- 課題が明らかになってから、時間を空けずに対応すべきだと思う。
- 体制を大きく変えず、今まで積み重ねたものを引き継げればよいと思う。
- 保護者の目に見える連携をする必要があるのではないか。
- 長期間関わってくれる機関がなく、保護者は困っているのではないか。
- 各事業所がどのような情報を必要としているかを吸い上げられればよいと思う。
- 「障がい」という文字や対面での相談はハードルが高いが、WEB アンケートだと回答者が気軽に意見を出すことができよかった。今後も有効に使えるとよいと思う。
- アンケート結果は有効に活用すべきだと思う。
- 夏休みなどの長期休暇中に「何でも相談会」を開催できればよいと思う。
- 制度や資源を可視化することで、関係機関がつながりやすくなるのではないか。
- この会議で気づいたことを各機関に持ち帰ることも大切だと思う。
- (事務局) 積み重ねた情報を関係機関に伝えていきたい。